

安佐医師会サーベイランス週報 第30週 令和4年 7月 25日(月)～令和4年 7月 31日(日)

地区	祇園	安古市	沼田	佐東	可部	高陽	安佐	白木	安佐市民病院	合計	傾向	コメント	
	定点医療機関数	4定点	5定点	2定点	2定点	4定点	5定点	2定点	1定点	1定点			26定点
	対象人口	75,115名	83,974名	38,432名	43,294名	57,093名	63,914名	19,542名	8,518名	1定点			389,882名
	定点数当り人口	18,779名	16,795名	19,216名	21,647名	14,273名	12,783名	9,771名	8,518名	1定点			8,518名
1 R Sウイルス感染症	30	5	2		4	6			1	48	↓	<p>【第30週安佐圏域での各種感染症の動向】 7/24～7/31</p> <p>1. RSウイルス感染症: 72→48件 4. 感染性胃腸炎: 41→32件 6. 手足口病: 45→32件 12. その他: 新型コロナ: 56→112件 …Sこどもクリニック 44件、 GFこどもクリニック 14件、 Yこどもクリニック 13件 Fこどもクリニック 7件、 Dクリニック 30件、K内科 2件</p> <p>&lt;安佐地区 夏風邪3感染症の推移&gt; …7/31</p> <p>・手足口病ピークをこえるか？</p> <p>&lt;安佐地区 RSウイルス感染症の推移&gt; …7/31</p> <p>・RSウイルス感染症もピークをこえるか？</p> <p>【BA.2.75の流行の可能性について】 … 京都大 西浦教授</p> <p>・インドでの感染状況を見るとこれまでより広がりやすい可能性はありそうだ。 ・「今後【BA.2.75】が増えた場合、『第7波』の後に再上昇したり、流行が長びいて医療が逼迫したりすることが想定される」とコメント。</p>	
2 咽頭結膜熱	2		1							3	↑		
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1		2				1			4	↑		
4 感染性胃腸炎	8	2	3		2	17				32	↓		
5 水痘													
6 手足口病	21	7				1	3			32	↓		
7 伝染性紅斑													
8 突発性発しん	2						3			5	↑		
9 百日せき													
10 ヘルパンギーナ	1					3	1			5	↑		
11 流行性耳下腺炎													
12-Aインフルエンザ(A型)													
12-Bインフルエンザ(B型)													
13 急性出血性結膜炎													
14 流行性角結膜炎		1								1	↓		
15 麻しん													
16 風しん													
17 MCLS(川崎病)													
18 髄膜炎(細菌性)													
19 髄膜炎(無菌性)													
20 マイコプラズマ肺炎													
21 クラミジア肺炎													
22 その他	60		13			37	2			112	↑		
合計	125	15	21			50	30		1	242			

全医師届出義務の感染症(保健センター)

一言「イットコール」 安佐医師会 873-1840にも連絡を頂けると助かります！

【急性ウイルス性肝炎、ペロ毒素産生腸管感染症(O157、26、など)、麻しん、風しん、つつが虫病、結核、オウム病、レジオネラ症、アメーバ赤痢、梅毒、AIDS・・・】

全会員に即情報  
保健センターへの届出用紙有り

・インドでの感染状況を見るとこれまでより広がりやすい可能性はありそうだ。  
・「今後【BA.2.75】が増えた場合、『第7波』の後に再上昇したり、流行が長びいて医療が逼迫したりすることが想定される」とコメント。